



# 校長室だより

令和4年度  
12月23日  
NO. 8

## 秦梨小のあいさつ運動は今！

今年度の秦梨教育の重点努力目標のいちばんにあいさつを取り上げました。秦梨小の子供たち全員が「いつでも、どこでも、だれにでも」自ら進んであいさつができるようになることを目指して、1学期から様々な取組を行っています。

まず、子供たちが考えた「あいさつ誓いの言葉」があげられます。秦梨小では、これまでも下校時に「交通安全誓いの言葉」を唱和していましたが、子供たちの発案でそれに続いて「あいさつ誓いの言葉」を唱和するようになりました。今も続けられています。また、代表委員会が中心となって「あいさつアンケート」を実施し、その分析に基づいて「秦梨小のあいさつの課題」について考える全校集会も開催されました。さらに、6年生は独自に「ハッピーあいさつキャンペーン」を企画し、下学年に呼び掛ける活動もしてくれました。秦梨小のあいさつの問題を多くの子供が自分事としてとらえ、主体的に活動に取り組んでくれていることに感心します。秦梨っ子の素晴らしいところです。

有り難いことにPTAも「あいさつカレンダー」を企画し、協力してくださっています。感謝しています。

こうした取組は、着実に実を結び、以前に比べて「秦梨っ子のあいさつ」は随分よくなったと思います。それでも、目標達成にはまだまだです。12月12日には、第2回の全校集会が行われました。その様子は学校評議員の方々にも参観していただきました。

集会では主に次の2点について、話し合いが行われました。

- ① 地域の人にあいさつができているか。
- ② 友達にあいさつができているか。

まず、新たに行った子供たちのアンケート結果や地域の方（見守り隊の〇〇〇〇さん、駐在官の〇〇〇〇さん）のインタビューも紹介しながら、代表委員の子供たちから現状についての報告がありました。

- ① については、アンケート結果では、全校達成率が前回の45%から84%に伸びて



▲ 代表委員による説明の様子



▲ 縦割り班ごとに話し合いをする様子

いました。中村さんや竹下さんからも、あいさつの声ができるようになってきたことを評価していただきました。また、参観していただいていた評議員の〇〇〇〇さんにも、あいさつできる子が増えていることを褒めていただきました。その一方で、休みの日（先生がいないとき）に地域の人に出会ったとき、自分からあいさつできる子はまだまだ少ないとのご指摘もいただきました。集会後、校長室で行われた学校評議員会では、評議員の〇〇〇〇さんから「やらされていると感じている子供はいないだろうか。あいさつの大切さ、あいさつをしたときの気持ちよさを一人一人の子供の心に落とし、進んであいさつできる子を育ててほしい」とのご指導もいただきました。ご指摘を率直に受け止め、秦梨っ子のあいさつを本物にしていきたいと思っています。

②については、前回の78%から77%とほとんど変わらない結果でした。

これらの結果を受け、次の2点について縦割り班で話し合い、iPadを使ってそれぞれの意見を全校児童で共有しました。

- ・ どうして地域の人にあいさつできる子が増えてきたのか。
- ・ どうして友達にあいさつできないのか。秦梨っ子のみんなが廊下ですれちがったときにあいさつするためにはどうしたらいいのか。

その後の子供たちの様子を見てみると、あいさつが習慣化しつつある子も見受けられ、うれしく思っています。やっぱり秦梨っ子は素晴らしい。3学期には、全員があいさつを自然にできるようになることを願っています。冬休みにも「あいさつカード」の取組があります。保護者の方々もぜひ気にしてあげていただけると幸いです。

毎年恒例の「かけ足」が、今年は11月24日から始まりました。その練習の集大成の場として、「校内マラソン大会」が12月7日に行われました。保護者の方はもちろん、地域の方々も子供たちが懸命に走る姿に声援を送ってくださり、ありがとうございました。

参加者全員が、すべて完走したことを何より褒めたと思っています。それぞれの頑張りが心に残っています。

さらに今年のトピックは、〇年の〇〇〇〇君が新記録（6分45秒）を出してくれたことでした。素晴らしい！来年度以降は、この記録を目指してそれぞれが一層奮起してくれることを期待しています。



夏休みの宿題として取り組むものの一つとして、「アイデア貯金箱コンクール」があります。今年も多くの児童が参加しました。その中で〇年の〇〇〇〇君の作品が全国審査までいき、見事「すてきなデザイン・アイデア賞」を受賞しました。蚕をテーマにした作品だそうです。アイデアの素晴らしさに感心するばかりです。

